



すすんで学び 心豊かに たくましく

わっく 2026

滝沢市立柳沢小中学校校報 No. 6 令和8年6月11日（木）発行 文責：中軽米

校長室から見える景色の色の緑率が上がってきました。空が青い日はとっても清々しい気持ちになります。実は校長室の中にもたくさんの植物があります。私は余り詳しくないので、今心配していることがあります。高さが1m以上あるこの植物ですが、上の方30cmくらいの葉は濃い緑色。でもなぜかその下りは黄色になっているような…。枯れてきている？水が多い？水が少ない？栄養が足りない？



5月下旬からの柳沢小中学校

5/22 一本木小交流遠足in馬っこパーク&森林公園

1・2年生が、一本木小の1・2年生と一緒に遠足に行ってきました。4名で学習しているいつもとは違うという緊張感が少しありながらも、「遠足」という楽しみでちょっとワクワクしている様子です。

9年間クラス替えがない学校の子どもたちの中には、友だちを作ることに対してすごく緊張する子が結構居るのはよくあることです。だから、低学年のうちからたくさんの子どもだちと交流する機会はとてもいいことです。たくさん友だちはできたかなあと思いながら、「友だちできた？」と聞くと、返事に少し間が…。ちょっと心配になりながら、写真を見せてもらおうと、馬やヤギにエサをやったり、森林公園でお弁当を食べたり、とても楽しそうな様子がたくさん。よかった！良い交流遠足になりましたね。



5/26・29 大きくなあれ！おいも

学校では理科や生活科の学習で野菜を栽培します。決して、食べることが目的ではありませんが、やはりお世話をして、収穫して、食べる時の子ども達の笑顔は最高です。1・2年生は柳川採種研究所の方に教えていただきながら、サツマイモの苗植えをしました。苗を差し込む角度や畝のつくり方にも秘密がありそうです。



5・6年生は、ジャガイモを植えました。さすが高学年。今まで培った経験と知識。自分たちで積極的に自分たちでイモを植えたようです。ジャガイモの穴掘りにも全力、強風を表現する演技にも全力の5・6年生でした。



さて、子ども達が植えたサツマイモ・ジャガイモ…収穫がたのしみですね。

6/1 芸術鑑賞教室でオペラに親しむ

「本物にふれる！」何事も本物にふれることにまさるものではありません。自分の学校だけで芸術家にいらしていただくのは簡単なことではありません。保護者の皆様のご協力、そして、各校の教職員、子どもたちに音楽を教えていた先生、いらしてくださったみなさん。「子どもたちが本物にふれる機会を」という思いが今回の芸術鑑賞教室を実現させました。

いらしてくださった方4名のうち、3名は岩手県出身で不来方高校OB、1名は千葉県出身とのこと。日本を代表して、海外留学する演奏家や音楽紙芝居やピ

アノ演奏、作曲、イラストなど幅広い分野で活躍する演奏家。子どもたちに音楽を教えていた先生は音楽の舞台監督で活躍しているとのこと。

今回、本物が伝える力のすごさを改めて感じました。実はイタリア語のオペラを3曲披露してくださったのですが、イタリア語が分からない私たちにとって、細かい内容は分かりません。

しかし、すごい迫力で体育館いっぱいに響く歌声。動きや声の雰囲気、ピアノの表情が子どもたちにも伝わっているのでしょう。そこには一生懸命見つめる子どもたちの表情がありました。そして、各学校の代表児童生徒の感想にも本物の力はあらわれていました。



6/4 中学生の総合的な学習の時間

1年生は7月7日の地域学習でお世話になる地域の会社について調べていました。1年生もタブレットを駆使しながら調べたことをまとめていました。3年生はというと9月の修学旅行の自主研修について調べていました。昨今の物価高は子どもたちにも重くのしかかっているようです。ため息をつきながら、高額の入場料と行きたい気持ちを天秤にかける3年生でした。



すごく面倒見のいい中学生

柳中生はすごく面倒見がいいと思います。小学生・中学生合わせて20名なので、いろいろな場面で一緒に活動するという状況であるのは確かなのですが。

例えば、掃除は小中学生を合わせた縦割り班で行います。自分の役割をしっかりと行いながら、下級生たちに掃除の仕方を教えます。会話を聞いているとお姉さんお兄さんと弟妹たちをこえて、お父さんお母さんと子どもたちの会話に聞こえることもあり、ちょっと微笑んでしまいます。

ある日、昼休みに外を見ると、低学年から中学生までオニごっこをしていました。なんとも微笑ましい風景です。1回だけのスペシャルイベントかと思ったのですが、そうでもないらしいです。



6/9 中学校総合体育大会激励会

岩手地区の中学校総合体育大会が6月13日・14日に行われます。中学校3年生にとっては最後の大会で、今回の大会の結果であと1ヶ月部活動が続けられるか、引退になるかの分かれ目となります。その大会に全力でぞむことができるようにと、開かれるのが激励会です。他の中学校と違うのは、その激励会を進行するのは小学生であることです。運動会で中学生に教えてもらった応援の仕方を、ここでは出場する選手のみなさんに向けて、全力で行っています。

運動会の時よりもみんな揃っているように感じました。運動会の時がいまいちだったのではなくて、今日の応援が良すぎたのだと思います。大げさではなくて、シャッターを押し忘れそうでした。気持ちって、本当に大切ななと思いました。応援の小学生から中学生までの気持ちが味方しています。思いっきり練習の成果を出してきてください。

